

事業名	地域特産品販売促進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	焼酎愛好家、飲食店	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	販売本数		
【抱える課題やニーズは】	小売価格を抑えるため既存の流通ルートに頼らない販売をしているが、販路拡大に苦しんでいる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民に定着し、10年後・20年後も愛される商品となることで、事業の安定した継続を実現する。	①	販売本数		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	焼酎による物産・観光振興を図る。また、これをきっかけに農業分野における新たな特産品の創造を行い、ひいては遊休耕作地の活用等の農業振興にも寄与する。		目標年度	平成26年度	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	雄武町産韃靼そばを原料とした焼酎の製造	二世古酒造(俱知安町)により製造(原酒の製造も含む)。	目標値	4800本	
	商品PR・販路拡大	町内の酒類販売店(セイコーマートを含む)に加え、現在は都市部での販路拡大にも取り組んでいる。また、ギフトセットの開発や原酒の製造など販促事業にも取り組んでいる。	実績値	2648本	
			達成度	55.2%	
			②	目標年度	平成26年度
				目標値	
				実績値	
				達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	製造元である二世古酒造においては販路拡大に限界があることから、雄武町産韃靼そばを原料とした焼酎をPR(販売)することにより、雄武町の知名度向上の一助になるものと考える。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	平成20年の販売開始以来、ここまで順調な売上を記録しているが、道内においても知名度が低いことから、新酒販売を契機に町のPRを含め、販売本数の増に向けた積極的な取組みが必要である。
	<input type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	取り扱い業者(卸問屋、小売り店、飲食店等)への訪問PR等により、安定的な取り扱い本数を維持しており、新酒についても取り扱い本数が伸びていることから、効率的と判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町内外を問わず多くの人々に提供されており、雄武町のPR物品としても定着している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	B	
	「満天きりり」の製造、販売も順調であり、「オホーツクの勇者 雄武」を含め、町のPRにも寄与しているが、更なる知名度向上への取組みが必要である。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/内容の見直し・変更	
	町民に愛される酒となることを目指しているが、当事業は観光物産振興も目的としており、焼酎に限らず、特産品の開発・販売等、町外への販路拡大及びふるさと応援寄附金による知名度拡大等に一層力を入れる必要がある。	

- ※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040120

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費：計画年度により変更あり
基本施策	5 観光の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 雄武観光の売り込み	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	地域特産品販売促進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	焼酎の販売		#N/A	
事業目標	24,800本販売	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	ダツタンそばを使用した焼酎の販売促進	販売促進活動旅費～469千円 PR用焼酎購入(原酒を含む)～ 1,299千円(850本) 販売促進消耗品(袋、箱、原酒ラ ベル、パンフ等)～720千円 広告・チラシ折込～112千円 原酒仕込用甕～500千円 ※町在庫 焼酎 1,800本 原酒 30本	販売促進活動旅費～272千円 PR用焼酎購入(原酒を含む)～ 343千円(240本) 販売促進消耗品(袋、原酒ラベ ル)～241千円 広告・チラシ折込～74千円	販売促進活動旅費～272千円 PR用焼酎購入(原酒を含む)～ 343千円(240本) 販売促進消耗品(袋、原酒ラベ ル)～241千円 広告・チラシ折込～74千円	販売促進活動旅費～272千円 PR用焼酎購入(原酒を含む)～ 343千円(240本) 販売促進消耗品(袋、箱、原酒 ル)～241千円 広告・チラシ折込～74千円	販売促進活動旅費～272千円 PR用焼酎購入(原酒を含む)～ 343千円(240本) 販売促進消耗品(袋、原酒ラベル ル)～241千円 広告・チラシ折込～74千円	
	事業費(千円)	6,820	3,100	930	930	930	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	6,820	3,100	930	930	930		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,570	1,972	598	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	22		22				
一般財源	2,548	1,972	576				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ・販売実績 2,644本 原酒 635本 ・仕込用甕購入 ・箱、ポスター、パンフ作成	(実施内容等) ・販売実績 2,128本 原酒 520本	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	販売5,600本	販売4,800本	販売4,800本	販売4,800本	販売4,800本
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	64%	64%	0%	0%	0%
		全体達成率	29%	38%	38%	38%	38%
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆				